

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】令和 5 年 7 月 3 日(2023.7.3)

【公開番号】特開 2022-29555(P2022-29555A)
【公開日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-030
【出願番号】特願 2020-132879(P2020-132879)
【国際特許分類】

E 0 3 D 5/10(2006.01)
A 4 7 K 13/10(2006.01)
E 0 3 D 11/02(2006.01)

10

【F I】

E 0 3 D 5/10
A 4 7 K 13/10
E 0 3 D 11/02 Z

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 6 月 23 日(2023.6.23)
【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 10
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項 10】

便座と、便蓋と、該便蓋の開閉を検知する便蓋開閉検知部と、前記便蓋を開閉する便蓋駆動部と、便器本体に対し洗浄指示を出力するボウル洗浄指示手段と、便座側制御部と、を備え、前記便器本体に取りつけられる便座装置であって、

前記便器本体は便器近傍の人体の検知を可能とされており、

前記便座側制御部は、

30

前記便器本体が人体を検知したときに、前記便蓋が閉状態であれば、前記便蓋駆動部に前記便蓋の開動作を開始させ、前記便蓋が開動作中に前記ボウル洗浄指示手段または前記便器本体より洗浄指示を受けた場合、当該洗浄指示を取り消すことを特徴とする便座装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0059
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0059】

40

図 6 の便座装置 30 は、便座装置 30 側より便器洗浄部 13 に対しボウル 12 の洗浄指示が出力できる構成とされている。具体的には、便座装置 30 は、ボウル洗浄操作部 49 より洗浄の指示があったときに、便座側制御部 35 がこれを受けて、便器本体側の制御部 5 を通じて、便器洗浄部 13 を制御してボウル 12 の洗浄ができるようになっている。また、便座側制御部 35 が直接、便器洗浄部 13 を制御する構成としてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0060
【補正方法】変更
【補正の内容】

50

【 0 0 6 0 】

なお、図 6 に示すように、便器装置 3 は便座装置 3 0 側のボウル洗浄操作部 4 9 だけではなく、便器本体側の洗浄操作部 2 9 をも含んだ構成とされている。つまり、図 5 のものは、洗浄操作部 2 9、ボウル洗浄操作部 4 9 のいずれでも洗浄指示ができる構成とされている。また、便器本体側に洗浄操作部 2 9 を設けずに、ボウル洗浄操作部 4 9 でのみ洗浄指示ができる構成であってもよい。なお、ボウル洗浄操作部 4 9 も大使用洗浄ボタンと小使用洗浄ボタンとを有することが望ましい。

【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 7 0

10

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 7 0 】

- 1、3 洋風便器装置
- 5 制御部
- 7 報知部
- 9 人体検知部
- 1 2 ボウル
- 1 3 便器洗浄部
- 2 0 便蓋
- 2 1 便蓋開閉検知部
- 2 2 便蓋駆動部
- 2 3 便蓋操作部
- 2 4 便座
- 2 5 便座開閉検知部
- 2 6 便座駆動部
- 2 7 便座操作部
- 2 8 着座検知部
- 2 9 洗浄操作部
- 3 0 便座装置
- 3 5 便座側制御部
- 3 7 報知部
- 4 0 便蓋
- 4 1 便蓋開閉検知部
- 4 2 便蓋駆動部
- 4 3 便蓋操作部
- 4 4 便座
- 4 5 便座開閉検知部
- 4 6 便座駆動部
- 4 7 便座操作部
- 4 8 着座検知部
- 4 9 ボウル洗浄操作部

20

30

40

【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

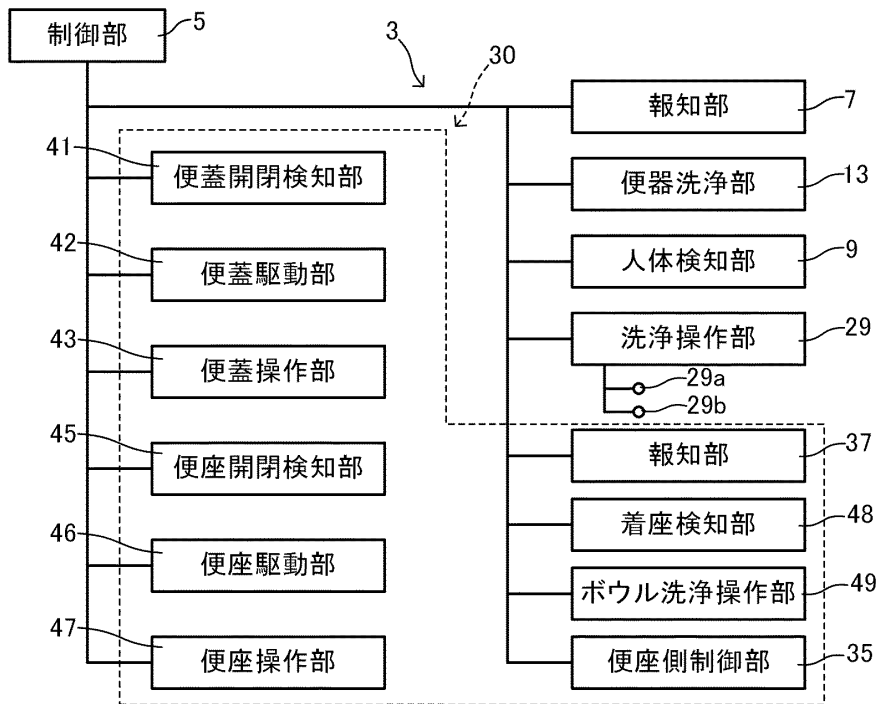
【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 図 6 】

(a)



(b)

